

楽しんで学べる

藤樹教材づくり

教材委員会 北川 暢子

ふり返ると二〇〇七年の暮れのころ。生誕四〇〇年祭実行委員会から藤樹先生生誕四〇〇年の記念事業の一つとして、啓発資料の作成を依頼されました。

高島藤樹会活動の一コマ

教材委員会は紙芝居の制作をしようと相談し、みんな張り切りました。素人集団の手作り作業で『子どものころの藤樹さん』『車が田に落ちた』を制作することができました。この二作は、県内全小学校・幼稚園・保育園と大洲市の全小学校に配付されました。素人集団の未熟なものでありましたが、楽しく学べる教材・資料として喜んでもらうことができました。

二〇〇八年は、印刷工法の変遷で廃版になっていた『藤樹かるた』再版の要請に応え、リニューアルに取り組みました。市内の全保・幼・小の各施設に必要な数を配付しました。

この二つの取組は、藤樹先生の道



徳を「楽しんで学ぶ教材」として有効であるとの評価をいただくことができました。

高島藤樹会の会議で、「啓発や普及に役立つ紙芝居作りを続けてはどうか」という提案があつて、その後は、安曇川支所の地域事業の助成金をいただき、また本会の特別会計から、大切な基金の拠出によって毎年二巻ずつ発行を続けています。昨年度末で十三巻を発行。今年度も与右衛門さんの多感な風早での少年時代に焦点を当てた二作を制作中です。

現在、高島市では藤樹先生の生誕日三月七日頃に各小学校で『立志祭』や『二分の一人式』が実施されています。この頃を中心に藤樹先生の生き方や教えを学ぶ資料として紙芝居やかるたが活用されています。紙芝居は、老人会、人権学習会、子ども会等でも人気があり、要請を受けて出かける機会が増えてきています。

藤樹人間学

学習会

田中 清行

高島藤樹会は、藤樹先生の思想の研究と藤樹思想を高島から日本中に発信していくことを目的にしています。

学習委員会では、藤樹思想の研究とそれを日常生活に活かすことを目的に平成二十三年七月に安曇川公民館で学習会を開始しました。皮切りは、廣瀬童心先生に「藤樹先生に学ぶ人間学」の講演をしていただきました。次に数回、中江彰先生に、その次に数回、上田藤市郎先生に藤樹先生のお話をしていただき、皆で話し合いをしました。

平成二十四年四月からは、「藤樹人間学学習会」として、毎月第二水曜日の夜に藤樹先生の名著である『翁問答』（現代訳版）を皆で輪読し、その意味を皆で考える、そして日々のトピックスと結び付けて、自分たちの生き方を考えるような学習会をして



います。二十五年十一月で二十八回を数えました。久保田暁一先生が毎回ご出席いただき、見守って下さっています。お茶とお菓子をいただきながら仲間とゆつたりとした雰囲気です。三カ月に一回は、場所を変えて一時間学習し、その後懇親会をして楽しんでいきます。皆さん、どうぞご参加ください。お待ちしております。

藤樹先生に

親しむ会

上田 藤市郎

- 開催日：毎月第一日曜日 14時30分～16時
- 会場：上小川 藤樹書院
- 参加者：藤樹会会員、藤樹先生に親しむ会、その他関心のある人など十余名
- 活動内容：藤樹書院は、藤樹先生が塾生とともに学ぶ場所として、藤樹書院と名付けられ、「藤樹規」を掲げておられた場所でありますから、ここで先生関連の書物を読むことは、誠に意義深いことだと思います。
- 先生関連の書物は、いずれも漢文、古語を読むこととなるので、会員同志が少しずつ講読を進めてきました。「孝経」を毛筆で書く